

金属加工会社を設立

ノボル鋼鉄

明星精工から事業譲受け

小型・精密部品を強化

ノボル鋼鉄（社長・

三上隆彦氏）は、金属

部品加工業の明星精工

から事業譲渡を受け、

14年12月から新会社

「ノボルエンジニアリ

ング」の操業を開始し

た。新会社は医療器や

産業機器向けの小型・

精密部品の技術力が強

み。ノボル鋼鉄の営業

・調達力とのシナジー

を生かして事業強化を

図る。品質管理、社員

教育などもノボル鋼鉄

のノウハウを徐々に注

ぎ込み、将来はノボル

鋼鉄・テクニカルセン

ターやノボル精密との

技術交流を進める。

明星精工は1967

年創業で68年設立。安

川電機、アトムメディ

カル向けなどが主力

で、医療機器、サーボ

・リニアモータ機構部

品など産業機器に使わ

れる金属部品加工を手

掛け、熱処理・めっき

処理・塗装処理も外注

対応していた。技術力

はあるが財務基盤が弱

かったため、事業譲渡

を模索。ノボル鋼鉄は

金融機関の紹介で買取

に乗り出し、昨年9月

末に関係者間で合意し

た。事業譲渡額は1億

円強。

新会社は資本金1千

万円、三上晃史ノボ

ル鋼鉄常務が社長を兼

任。明星精工の黒田洋

一社長を技術顧問、黒

に迎え入れ、従業員30

人も引き継いだ。月商

は3千万円強。

主な設備はマシニン

グセンター24台、旋盤

28台など。素材はアル

ミ、ダイカスト製品、

構造用鋼、エンブラな

ど幅広く、丸材は長さ

250センチ前後で1〜3

00センチ、角材は最大

1千×610×460

ミリを加工する。

2工場体制で、本社

工場（延べ床面積90

2平方メートル）が埼玉県さ

いたま市西区、浦和工

場（敷地335平方メートル、

3階建て延べ763平方

メートル）が同移区にあり、

主に浦和で前加工、本

社で後加工を行う。